



絵画コンテストで入賞し表彰を受ける児童  
＝8日午後、松山市堀之内

## 国体の躍動記録 写真・絵22点入賞

松山で表彰式

2017年の愛媛国体・  
全国障害者スポーツ大会を  
題材にした「愛顔(えがお)

つなぐフォト・絵画コンテ  
スト」(愛顔つなぐえひめ  
国体・えひめ大会実行委員  
会主催)の表彰式が8日、

松山市堀之内の県美術館で  
あり、力作を寄せた入賞者  
22人に賞状を贈った。

(16・17面に特集)

競技や応援風景、ボラン  
ティア活動など記憶に残し  
たい瞬間の写真と絵画を募  
った。フォト部門は県内外  
90人221点のうち10点が  
入賞。小中高校、特別支援  
学校の児童・生徒が参加す  
る絵画部門には、150校

から計1107点が集ま  
り、12点が入賞した。

表彰式で実行委会長の中  
村時広知事は「心に残る瞬  
間を捉えた見事な写真や持  
ち味を生かした絵画など、  
ずっと残っていく作品が寄  
せられ感謝している」と語  
った。

フォト部門で最優秀賞に  
輝いた松山市苞木、会社員  
井上雄次さん(65)は障スポ  
大会での陸上選手の笑顔を  
活写。「軽快な走りと素晴  
らしい笑顔に感動と勇気  
をもらった。私もそれらが  
与えられる写真を目標に  
努力したい」と話した。絵  
画部門の最優秀賞に選ば  
れた松前小5年中島正伊  
君(11)は国体の競泳選手を  
描き「スイミングクラブで  
の練習を頑張って僕も国体  
に出場したい」と意気込ん  
だ。

全応募作は9、18日に県  
美術館南館で展示する。

(中田佐知子)